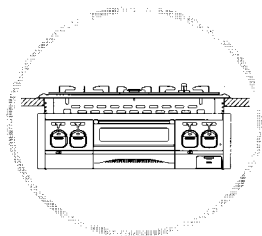


ガスビルトインコンロ

PD-32EF-5L
PD-32EF-6R

110-P510型

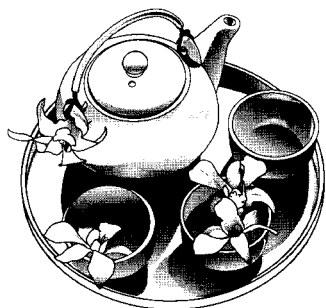
110-P511型



取扱説明書

このたびはガスビルトインコンロをお求めいただきまして、ありがとうございます。

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解して下さるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
- 取扱説明書を紛失された場合は裏表紙に記載のまよりの大阪ガスまでお問い合わせください。



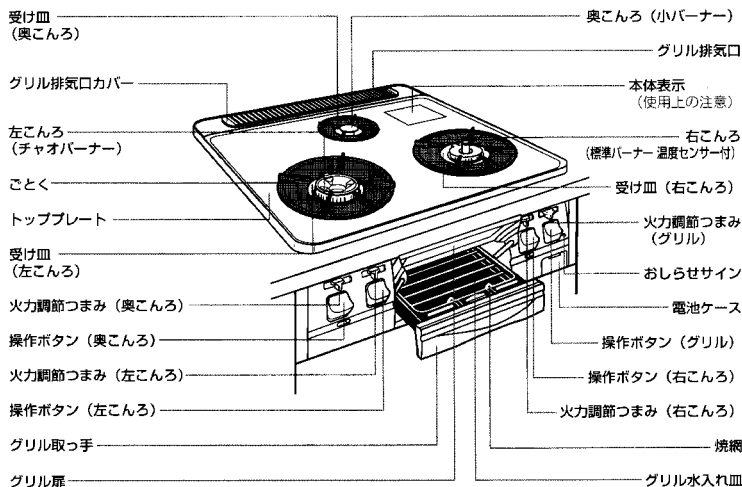
大阪ガス

もくじ

各部のなまえ	1
必ずお守りください	2
設置について	9
こんろの使いかた	12
グリルの使いかた	14
点検とお手入れ	16
電池交換について	19
故障かな?と思ったら	19
保管とアフターサービス	21
別売部品のご紹介	22
仕 様	22

各部のなまえ

取扱説明書中の図は110-P510型のご紹介となっております。
110-P511型はチャオバーナーが右、標準バーナーが左に付いています。



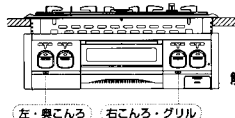
特長

- 省エネルギー高効率こんろバーナー
従来のコンロに比べ、熱効率が大幅に向上していますのでガス代を節約できます。
- 天ぷら油過熱防止機能&焦げつき消火機能 (標準バーナー)
天ぷら油の過熱と煮物等の焦げつきを防止するため、温度センサーが消火温度になると自動的にガスを止めます。
- フレームトラップ (グリル排気口燃炎装置)
万一グリル室内で炎が上がっても、フレームトラップがグリル排気口より炎があらわれ出づるのを抑制し、火災を未然に防ぎます。
- 消し忘れタイマー
万一の消し忘れのために、点火後、標準バーナーは約120分、チャオバーナー・小バーナーは約60分、グリルは約22分で自動的にガスを止めます。

ロックつまみ

操作ボタンが押せないようにロックする機能です。
*小さなお子様のいたずら防止や使用しないとき等にご利用ください。

■ロックつまみの位置



解除 ← ロック

左・奥こんろ 右こんろ・グリル




おねがい

ロックされたまま操作ボタンを無理に押ししたり、使用中につまみを動かすと故障の原因になります。

必ずお守りください

【安全に正しくお使いいただくために】

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的
な禁止



火気禁止



接触禁止



分解禁止



発火注意



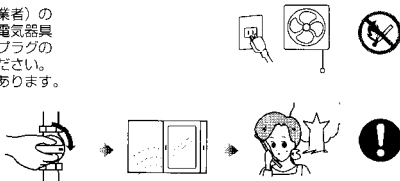
必ず行う

危険

ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないでください。炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

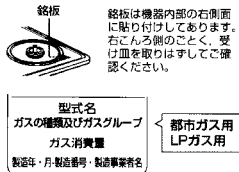
- ①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
- ②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
- ③もよりの大阪ガスまで連絡する。



警告

機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）の適合を確認する

表示のガス種が一致しないとき不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガス種が一致しているか確認してください。
*おわかりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店かもよりの大阪ガスまでご連絡ください。



分解禁止

修理・改造は高度な専門知識が必要です。工具を使用して分解したり修理・改造を行うことはお客様ご自身では絶対に行わないでください。発火したり、異常作動してけがの原因となります。



必ずお守りください

警告

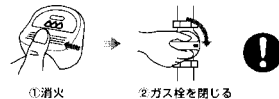
火をつけたままの移動、外出、就寝禁止

料理中のものが焦げたり燃えたりして火災の原因になります。
●とくに天ぷら、揚げものをしているときは注意してください。
●グリルを消し忘れると調理中のものに火がつく場合がありますので注意してください。



異常時の処置

- ①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用中で消火した場合、地震、火災など緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
- ②「故障かな?と思ったら」に従い処置する。
- ③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かもよりの大阪ガスまで連絡する。



機器の上や周囲には可燃物や引火物を置かない、近づけない

ペットボトル、調理油などは火災の原因になります。また、スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどは、熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

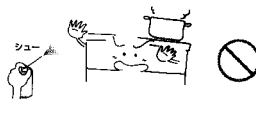
グリル使用中、排気口の上にタオル、ふきん、なべなどをのせない

不完全燃焼や火災、機器焼損の原因になります。



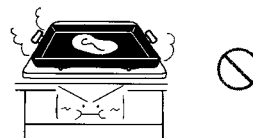
機器の周囲では引火のおそれのあるものを使用しない

スプレー、ガソリン、ベンジンなどは、引火して火災のおそれがあります。



こんろを覆うような大きな鉄板類やなべ、焼網は使わない

不完全燃焼や機器の異常過熱、ごとの変形、トッププレートの損傷の原因になります。



ねじ接続

この機器の接続は配管技能者が行うため、お買い上げの販売店に依頼してください。

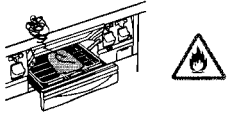


必ずお守りください

警告

グリル庫内に食品屑やふきんがないようにする。またグリル扉にはさんだまま使用しない

使用中に燃えることがあります。使用前に庫内を点検してください。
*取り除く際はケガをしないように注意してください。



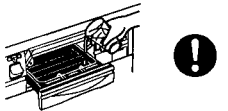
脂の出る料理には、焼網の上や下にアルミはくを敷かない

アルミはくの上に脂がたまり、発火する原因になります。



グリルを使用する時は、グリル水入れ皿に必ず所定の水量の水を入れ、使用中は常に水のある状態を保つ。グリル使用後は必ずお手入れする

グリル水入れ皿にたまった脂や、調理物が燃えて火災のおそれがあります。



消火の確認

使用後の消火を必ず確かめてください。



当社の純正部品を使用する

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。それ以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。



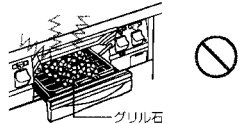
市販の補助具について

省エネ性をうたった補助具や、市販のアルミはく製する受け皿を使用しないでください。一酸化炭素中毒や、異常燃焼のおそれがあります。また、トッププレートの変色の原因になります。



グリル水入れ皿に水以外のものは入れない

機器の損傷やたまった脂が加熱され燃えて火災の原因になります。また、グリル水入れ皿が異常に加熱されて膨張し、出し入れする際にグリル庫内に撥れて重く感じたり、ホーローを傷めることがあります。フッ素コートトッププレートの場合、変色の原因にもなります。

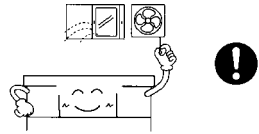


注意

ガス事故防止

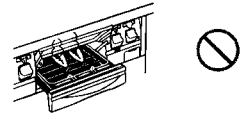
閉めきった部屋で長時間使用しないで、使用中は窓を開けるか換気扇を回してください。一酸化炭素中毒の原因になります。また、ストーブなど他の燃焼機器を長時間使用している部屋でお使いの場合は、点火しにくかったり、正常に燃焼しない場合があります。

*自然排気式給湯器および風呂釜を同時に使用する場合は、換気扇を回さず窓などを開けて換気してください。換気扇を回すと自然排気式給湯器および風呂釜の排気ガスが室内に流れ込むおそれがあります。



グリル使用中はグリル扉を開けたままにしない

あふれた熱気により、トッププレートやつまみ・ボタン等が過熱されやけどや変色・変形の原因になります。

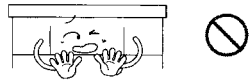


グリル使用時は魚を焼きすぎない

魚に火がつき機器焼損の原因になります。

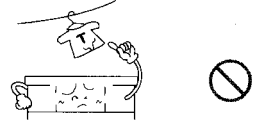
万一、グリル使用中に調理物や脂に火がついたときは、火が消えるまでグリルを引き出さない

炎があふれ出して、火災ややけどをするおそれがあります。



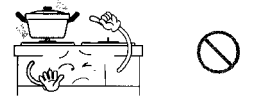
調理以外の用途には使わない

過熱・異常燃焼による機器焼損や火災の原因になります。



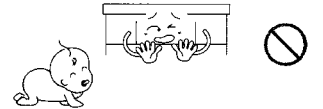
ごとくをはずして使用しない

なべなどを直接こらにおいて使用しないでください。不完全燃焼や機器焼損のおそれがあります。



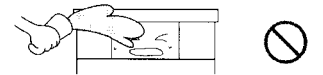
幼児や小さな子供に触らせない

思わぬ事故の原因になります。



熱くなったグリル扉に水をかけない

ガラスが割れてケガをするおそれがあります。



必ずお守りください

⚠ 注意

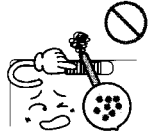
使用中や使用直後は
操作部以外は触らない

機器本体とその周辺および調理道具が熱くなるため、やけどをするおそれがあります。
*特に小さなお子さまがいる家庭では注意してください。



排気口に注意

グリル使用中はグリル排気口に手や顔を近づけたりなべの取っ手等を向けたりしないでください。高温の排気熱が出ているため、やけどや取っ手が破損するおそれがあります。



この機器の点火装置以外の方法（マッチ、点火ライターなど）では点火しない

やけどをするおそれがあります。



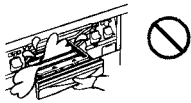
グリル水入れ皿を持ち運びする際は、中の水がこぼれないように注意する

使用中、使用直後は水が高温になっているためやけどをするおそれがあります。



グリル水入れ皿を勢いよく引き出さない

使用中、使用直後は皿が高温になっているためやけどをするおそれがあります。



点火操作時や使用中はバーナー付近に顔を近づけない

熱や炎でやけどをするおそれがあります。

使用中はバーナー付近に触れない

衣服に炎が移ったりする場合があります。



やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する

火力が強すぎると、やけどのおそれやなべなどの取っ手が破損する原因になります。



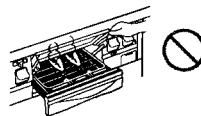
ごとくに安定してのるなべを使用する

底がすべりやすいなべ、径の小さいなべなど不安定ななべは使用しないでください。傾いてやけどのおそれがあります。



グリル使用中、使用直後にグリル扉を開けた状態でこんろ操作をしない

熱くなったグリル扉に手が触れてやけどをするおそれがあります。



グリル使用中、使用直後にグリル取っ手上面部(特に金属部)に触れない

高温のためやけどをするおそれがあります。



⚠ 注意

バーナーキャップを水洗いしたときは水気を十分ふき取る

水滴がバーナーに落ちて目づまりし、点火不良になることがあります。



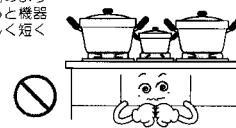
水平で安定したところに設置する

機器が傾いていると、調理中の鍋などが滑り落ちて、やけどやけがをするおそれがあります。また事故や故障の原因になります。



おねがい

この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。



使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。

初めて使うときやしばらく使わなかったときなどは点火しにくい場合があります。配管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作をしてください。

点火操作をしても点火しない場合は操作ボタンを戻して、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする

すぐに点火操作をすると周囲のガスに点火して、衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。



点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う

手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。



グリル庫内や本体内部をお手入れする際は各部品の突起物等に注意する

力強く当たった場合、手をけがすることがあります。



みそ汁を温めなおすときは火力を弱めにして、よくかき混ぜながら温めてください。強火で急に温め直すとなべ底に洗んだみそが突然噴き上がり、みそ汁が飛び散ったり、なべがはね上がってひっくり返ることがあります。



本機器は乾電池を使用していますので、大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。そのまましておきますと思わぬ事故になることがあります。



設置について

* 工事説明書と合わせてご覧になり、工事説明書通り正しく設置されていることをご確認ください。

温度センサー付バーナーについて 温度センサー



警告

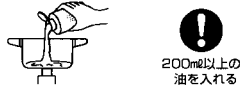
耐熱ガラス容器、土なべなど、熱が伝わりにくいもので揚げもの調理はしない

天ぷら油過熱防止機能が働かず、発火することがあります。



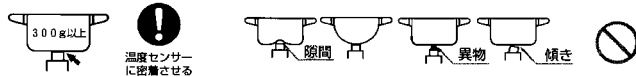
揚げもの調理には200ml以上の油を入れる

調理油の量が200ml未満の場合、温度センサーが働かず発火することがあります。



温度センサーの上面となべ底の中心が密着していないときは、使用しない

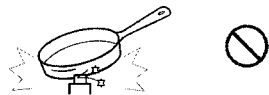
そのまま使用すると温度センサーが働かず調理油が発火することがあります。なべ底と温度センサーの間には隙間や異物がないようにしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。なべの重さは調理物を含め300g以上が必要です。



注意

温度センサーに強いショックやキズを与えない

温度センサーが故障する原因となります。



揚げもの調理をする場合は必ず温度センサー付バーナーを使用する

火災予防のためにお守りください。天ぷら油は油の温度が非常に高くなると、直接火が入らなくても発火します。



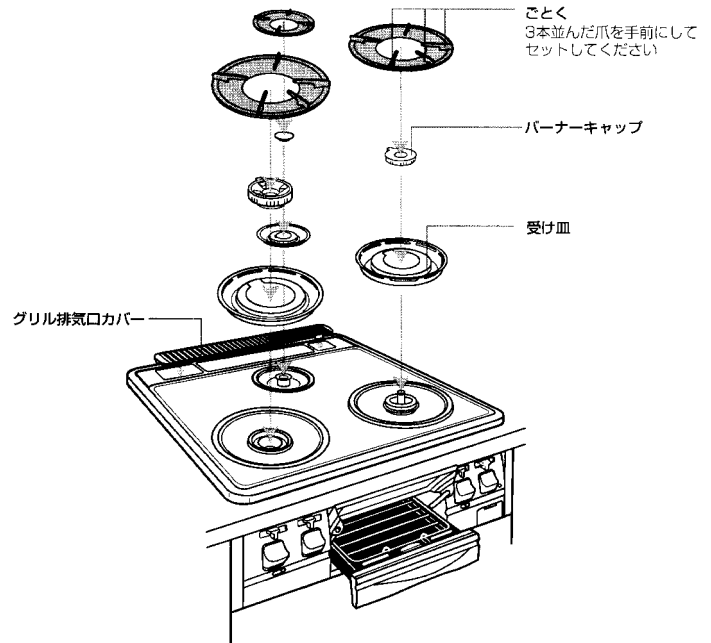
温度センサーがスムーズに上下に動くか確認する
また温度センサーとなべ底の密着する部分はいつも清潔にしておく

汚れが付着したり、動きが悪いと温度センサーがなべ底の温度を正しく感知できず、調理油が発火する原因になります。お手入れしても温度センサーの動きが悪いときはお買い上げの販売店かもよりの大阪ガスまでご連絡ください。



部品のセット

- あて紙や梱包部材やテープを取り除く。
- ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っているか確かめる。合っていない場合は使用をやめて、お買い上げの販売店かもよりの大阪ガスまで連絡する。
- 図は110-P510型のご紹介となっております。
110-P511型はチャオバーナーが右、標準バーナーが左についています。



設置について

設置場所と周囲の防火措置

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。

* 防火措置は各地の火災予防条例に従って行ってください。

警告

下記の条件を満たしている場所をお選びください。

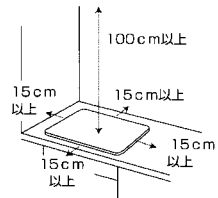
* 設置後に、機器の周囲の改装（吊り戸棚をつけるなど）を行う場合も設置基準をお守りください。

- 風が吹き込まない
- 水や熱がかららない
- 換気が良い
- 上に照明器具などの樹脂製品がない
- 水平で安定している
- 落下物の危険がない
- 上に湯沸器がない
- 周囲に可燃物がない



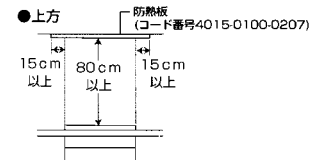
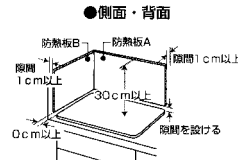
周囲に可燃物（木製などの可燃性の壁、ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接貼り付けた壁、たななど）のある場合

- トッププレートより上の側面は15cm以上、トッププレートより上の後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離す
- 上記の離隔距離がとれない場合は、防熱板を取り付ける



■防熱板について

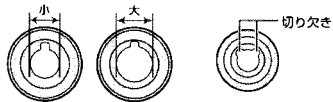
別売の防熱板（詳しくは22ページ参照）を図のように取り付けてください。



受け皿のセット

左・右こんろ

奥こんろ



切り欠きが奥にくる向きにして、あな的大眼睛をチャオバーナー側に、小さいほうを標準バーナー側にセットする

小さい受け皿は、切り欠きが奥にくる向きにして、奥こんろ側にセットする

注意

左右を間違えないように正しくセットする

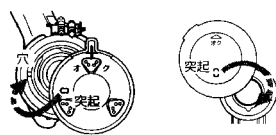
*特にチャオバーナー側にあな的大眼睛の受け皿をセットしないください。
→不完全燃焼や火災、故障の原因になります。



バーナーキャップのセット

左・右こんろ

奥こんろ



バーナーキャップ上面の「オク」を奥側にして突起を穴にはめる

注意

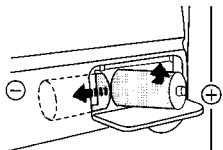
浮き・傾きのないようにセットする

→不完全燃焼や火災の原因になります。



乾電池のセット (アルカリ乾電池 単1形 1.5V 2個)

- ①電池ケースのふたを開ける
- ②乾電池の⊕を右にしていれ、先に入れた乾電池を左へ押しながら2個目を入れる
- ③電池ケースのふたを閉める



おねがい

- 電池ケースに水などの異物が入った場合は、電池接触不良の原因となるため、ふきとってきれいにしてください。
- 乾電池は新しいものと古いもの、または違う種類のを混ぜて使わないでください。寿命が短くなります。乾電池が液漏れすることがあります。
- 乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年です。ただし、付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。
- 乾電池はアルカリ乾電池をご使用ください。マンガン乾電池を使用の場合は寿命が短くなります。

こんろの使いかた

1 準備

①操作ボタンが押されていないことを確かめて、ガス栓を全開にする

②ロックつまみを左に動かしてロックを解除する



2 点火

①操作ボタンをゆっくりいっぱいまで押し、そのまま数秒間押し続ける

- ボタンはいっぱいまで押さないと点火しません。
- パチパチと音がして点火します。(こんろとグリル同時に放電)
- 火力調節つまみが弱火側にある時に点火操作すると、つまみは強の方向へ自動的に移動します。



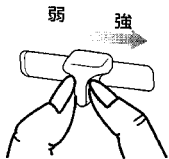
②手を離しても点火していることを確認する

- カラーサインは操作ボタンの状態を示します。操作ボタンが押しあがるときは「赤」に、押ししていないときは「白」に変わります。

3 火力調節

炎を見ながらつまみをゆっくり動かす

- 使用中もときどき燃焼を確かめてください。
- 強から弱へ急速につまみを動かしても、火力はゆっくり変化します。
- *煮込み調理などで長時間弱火が必要な場合は、標準バーナー（温度センサー側）をご使用ください。



4 消火

①操作ボタンを押す

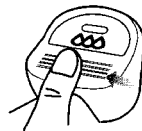
- 消火を確かめてください。

②ロックつまみを右に動かして操作ボタンをロックする

- 小さなお子様のいたすら防止にご利用ください。

③ガス栓を開める

- *燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。



おねがい

- なべに付いた水滴はふき取ってからごとくにのせてください。
- 余分な熱が必要になるうえ、水滴がバーナーに落ちて目づまりし、点火不良になることもあります。
- なべをごとくにのせてから点火したほうがより点火が確実になります。
- 弱火でご利用の際、キャビネット扉は静かに開閉してください。あまり強く開閉すると消火することがあります。
- ロックされたまま操作ボタンをムリに押ししたり、使用中につまみを動かすと故障の原因になります。

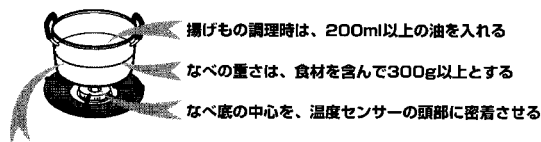
こんろの使いかた (温度センサー付バーナー)



上記マークが貼ってある方のバーナーです

温度センサーを正しく作動させるためにお守りください

特に揚げもの調理時にお守りいただけなければ、天ぷら油の過熱による発火を防止できないことがあります。



調理に適したなべを選ぶ (下表)

なべなどの種類	油調理		その他の調理 (煮物など)	備考
	揚げもの	炒めもの		
	○	○	○	温度センサーに適しています。
アルミ・鉄・ステンレス(多層を含む)	○	△	○	炒めもの調理時フライパンを返す動作を何度も行い、温度センサーとなべ底が密着していない時間が長くなると、途中消火することがあります。
	○	△	○	
	○	△	○	揚げもの調理以外の調理には適していません。
	×	○	○	揚げもの調理には適していません。発火することがありますので、使用しないでください。
	×	×	×	なべ底と温度センサーの密着が不安定なため、正しく使用できません。
	△	△	×	消火したり、トッププレートの変色等の原因になります。

このような調理には、チャオバーナーをお使いください

温度センサー付バーナーは温度センサーが高い温度になったときや、冷たくなりすぎた場合に途中で消火することがあります。また、なべを持ち上げるなど、なべが温度センサーから離れる調理も途中で消火することがあります。このようなときはチャオバーナーまたはリバーナーをお使いください。

《途中消火してしまう調理の例》

炒りもの調理・ウィンナー炒め・容器ごと凍らせた食品の解冻加熱

グリルの使いかた

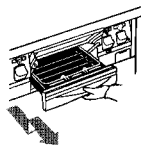
グリル水入れ皿の取り出しかた

中の水がこぼれないようにゆっくりと引き出す
取りはずすときは、止まるどころまで引き、少し持ち上げて引く

*最初から持ち上げた状態で引き出さないでください。

止まらずに勢いよく出てきてしまいます。

*持ち運びするときは、取っ手部分をしっかりと持ってください。



焼きかたのポイント

●焼網に食用油を塗っておくと、魚がくっつきにくくなります。

●魚のヒレなどこげやすい部分は厚めに塩をふるかアルミ箔で包んでおくことこげかたが少なくなります。

はじめて使うとき

①グリル水入れ皿にコップ1杯(約200ml)の水を入れる

②約15分、空焼きする…庫内の油を焼ききるためで煙や臭いが出ても異常ではありません。

1 準備

①操作ボタンが押されていないことを確かめて、ガス栓を全開にする

②ロックつまみを左に動かしてロックを解除する

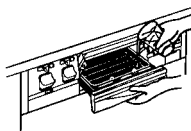
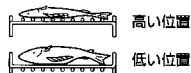
③焼網をセットする

●焼網は表裏で高さが変わります。焼物の種類、大きさににより使い分けてください。

④グリル水入れ皿にコップ1杯(約200ml)の水を入れる

●続けて使用するときはそのつど水を足し、脂が飛び散るようなときは水を入れ替えてください。

⑤グリル水入れ皿を奥までしっかりと入れる



グリルの使いかた

2 点火

①操作ボタンをゆっくりいっぱいまで押し、そのまま数秒間押し続ける

●カラーサインは操作ボタンの状態を示します。操作ボタンが押し続けているときは「赤」に、押していないときは「白」に変わります。

②バーナー全体に点火したことを確認する

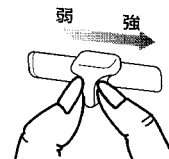
③3分ほど予熱してから材料をのせる



3 火力調節

材料に合わせて火力を調節する

●裏返した面は前よりも早い時間で焼き上がります。



4 消火

①操作ボタンを押す

●消火を確かめてください。

②ロックつまみを右に動かして操作ボタンをロックする

●小さなお子様のいたすら防止にご利用ください。

③ガス栓を閉める

④グリル水入れ皿のお手入れをする



おながい

●グリル水入れ皿を急に水で冷やさないでください。変形するおそれがあります。

●ロックされたまま操作ボタンをムリに押ししたり、使用中につまみを動かさず故障の原因になります。

点検とお手入れ

⚠注意

機器を水につけたり、水をかけたりしない
→不完全燃焼・故障の恐れがあります。



おねがい

- 点検とお手入れはガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
(機器が冷えるまで時間がかかります。)
- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。
- 「故障かな?と思ったら」を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店か mayores の大阪ガスにご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
- 安全にお使いいただくために定期的に点検を受けられることをおすすめします。(有償)

点検のポイント

*点検は常時行ってください。

- 機器のまわりに可燃物等はありませんか?
- 各部品は正しくセットされていますか?
- 乾電池は消耗していませんか?
- 汚れていませんか?
- ガス臭くありませんか?

お手入れのしかた

- 機器や取りはずした部品は落とさないように気を付けてください。けがや故障の原因になります。
- お手入れの際は各部品が正しくセットされているか確認をしてください。(「設置について」参照)



お手入れには台所用中性洗剤をお使いください。

おねがい

- シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。
機器損傷の原因になります。また、印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなどの固いものは使わないでください。表面を傷付けます。
- 汚れはそのつどお手入れしてください。そのままにしておく、汚れが落ちにくくなり早くいたみます。

■ごとく、受け皿、グリル排気口カバー

汚れたときは台所用中性洗剤で水洗いし、水気をふき取る

■バーナーキャップ

炎が不ぞろいになったときは、あなやみぞをブラシやはり金等先の細いもので掃除する

- *目づまりをすると点火不良や不完全燃焼の原因になります。
- お手入れの後は浮き・傾きのないようにセットしてください。
- 表側の黒い部分はスポンジなどのやわらかいもので台所用中性洗剤を使用して洗ってください。万一、黒い部分ががれてもそのままお使いになれます。



点検とお手入れ

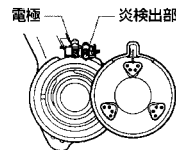
■炎検出部、電極

汚れや水気が付いたときはやわらかい布でふき取る

- *汚れや水気が付いていると点火しにくくなります。

おねがい

取り付け位置を動かしたり、キズを付けしないでください。
故障の原因になります。



■温度センサー

温度センサーが汚れたときは温度センサーに片手を添えて水気を固くしぼった布で汚れをふき取る

- *汚れが付いていると温度センサーの感度が悪くなります。



温度センサーは側面の汚れもふき取ってください。

■トッププレート

汚れたときは乾いた布で汚れをふき取る

- 汚れの落ちにくいときは台所用中性洗剤でお手入れし、乾いた布で水気をふき取ってください。

おねがい

本機器はトッププレートをねじで固定してあります。トッププレートの取り外しはしないでください。

フッ素コートトッププレートについて

- お手入れにはスポンジや布などのやわらかいものをお使いください。ナイロンたわし、金属たわし、みがき粉などの固いものは表面をキズ付けるので使わないでください。
- スポンジでもとれないしつこい汚れは乾いた布や柔らかい紙をお使いください。
- 中性洗剤以外の洗剤(レンジクリーナー、漂白剤などのアルカリ性洗剤)は使わないでください。フッ素コートのため、シミや変色の原因になります。
- 汚れたままにしておくとしみになることがあります。
- 長期間のご使用によりフッ素コートが変色することがありますがフッ素の効果には影響ありません。

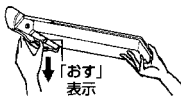
■グリル取っ手、グリル水入れ皿、焼網

お使いのたびに台所用中性洗剤で水洗いし、水気をふき取る

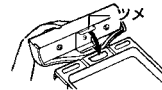
- グリル水入れ皿と取っ手は取りはずしてお手入れすることもできます。

取りはずしかた

取り付けかた



「おす」表示を↓の方向に押しはます



①ツメをグリル水入れ皿にはめ込む



②グリル取っ手を起こす
●「おす」表示の部分がはまり、固定されます。

■グリル扉

汚れたときはスポンジ、布などのやわらかいもので汚れをふき取る



おねがい

- グリル扉のガラスはみがき粉、金属たわしなどを使わないでください。ガラスが割れる原因になります。
- グリル扉や支えは変形させないようにしてください。変形するとグリル扉の閉まりや取り付けが悪くなる原因になります。
- グリル扉は取りはずしできません。

■交換部品（お客さまにて取替可能な部品）

下記の部品（有償）はお客さまご自身にてお取り替えしていただくことができます。交換の際は、製品の型式をご確認の上、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにてお求めください。

交換部品		品番	110-P510型/110-P511型	
			標準販売価格（税込）	部品コード
バーナーキャップ	チャオバーナー用		1,155	1110P1000101
	標準バーナー用		1,050	1110P1000111
	小バーナー用		1,050	1110P5010136
受け皿	チャオバーナー用		630	1110P1000004
	標準バーナー用		630	1110P5100005
	小バーナー用		420	1110P5100008
ごとく	チャオバーナー用/標準バーナー用		525	1110P5100002
	小バーナー用		420	1110P5100001
	グリル排気口カバー		420	1110P5100003
	グリル水入れ皿		630	101008470058
	焼網		420	101009280059

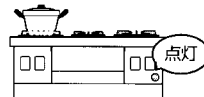
* 2005年6月現在の価格です。

* 価格・仕様は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

* 乾電池は電器店等でお買い求めください。

電池交換について

こんろまたはグリル使用時に、おしらせサインが点灯したときは電池が消耗していますので、新しい乾電池（アルカリ乾電池 単1形 1.5V 2個）と交換してください。（「設置について」参照）そのままにしておくとパチパチと放電していても使えなくなります。



- 電池が消耗してくると安全装置が作動しなくなるので、操作ボタンを押したとき点火していても、安全のため、手を離すと消火するようになります。操作ボタンを押し続けられれば点火していますが故障の原因となりますのでおやめください。
- 電池がすっかり消耗したときは、おしらせサインの点灯はしません。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。

下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店かもよりの大阪ガスまでご連絡ください。

現象	原因	処置方法
点火しない	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する
	乾電池の取り付けが悪い	正しくセットする
	バーナー炎口の水溜りや汚れによる目づまり	バーナーキャップのお手入れをする
点火しにくい	バーナーキャップのセット不良	正しくセットする
	受け皿のセット不良	正しくセットする
使用中に消火する	配管内に空気が残っている	点火操作を繰り返す
	点火操作が不適切	操作ボタンを押す時間を長くする
	炎検出部・電極が水ぬれしたり汚れている	炎検出部・電極のお手入れをする
	アルミはくしのしる受け皿を使っている	アルミはくしのしる受け皿を使わない
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する
おしらせサインが点灯する	温度センサーとなべ底が正しく接触していない	温度センサーとなべ底を正しく接触させる
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する
おしらせサインが点滅する	安全装置が作動した	安全装置が作動したときの処置方法を参照する（サインは15分間点滅）
黄色の炎で燃える異常が安定しない	バーナー炎口の水溜りや汚れによる目づまり	バーナーキャップのお手入れをする
	バーナーキャップのセット不良	正しくセットする
異常な音をたてて燃える	受け皿のセット不良	正しくセットする
	バーナーキャップのセット不良	正しくセットする
ガスのいやな臭いがする	バーナーキャップのセット不良	正しくセットする

故障ではない場合	理由
点火・消火のときに「ポツ」という音がする	点火音・消火音で、異常ではありません。
使用中「シャー」という音がする	ガスの通過音で、異常ではありません。
ごとくの先端が変色する	こんろの炎の熱で加熱された為で、異常ではありません。

保管とアフターサービス

おしらせサイン

- …2回点滅 (15分間)
- …1回点滅 (15分間)

■次の安全装置が付いています。

安全装置の種類	機能説明	処置方法 (消火に気づいたときは…)
立消え安全装置 全てのこんろ グリル	風や煮こぼれなどで炎が消えたときに自動的にガスを止めます。	すぐに操作ボタンを押して消火状態にしてください。炎が消えてからガスが止まるまでしばらく時間がかかります。再点火するときは周囲にガスがなくなるのを待ってください。
消し忘れタイマー 全てのこんろ グリル	万一の消し忘れのために、点火後標準バーナーは約120分、チャオバーナー・小バーナーは約60分、グリルは約22分経過すると自動的にガスを止めます。 (おしらせサイン…1回点滅)	操作ボタンを消火状態にします。グリルを連続して使うときは、一旦消火して、グリル水入れ皿に水を追加し、しばらく待ってから再度点火してください。
天ぶら油過熱防止機能 標準バーナー (温度センサー付)	天ぶら油が過熱による発火をする前に自動的にガスを止めます。 (おしらせサイン…2回点滅)	操作ボタンを消火状態にし、油の温度が適温になるまでそのままお待ちください。 *なべや調理によっては途中で消火する場合があります。このようなとき、揚げ物の以外の調理の場合はチャオバーナーまたは小バーナーをお使いください。
焦げつき消火機能 標準バーナー (温度センサー付)	煮物等の調理中になべ底が焦げつき始めたら、自動的にガスを止めます。 *なべや調理によっては途中で消火した際の焦げつき状況に差があります。 (おしらせサイン…2回点滅)	操作ボタンを消火状態にします。再点火時は更に焦げつきやすくなりますのでうすを見ながら調理してください。

*上記の現象にあてはまらないのにブザーが鳴った場合は、使用中を中止しガス栓を閉じた後、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスまで、点検・修理を依頼してください。

保管(長期間使わないとき)

機器のガス栓を必ず閉めて、乾電池を取りはずしておいてください。

*お手入れしておくと次回使用するときに便利です。(「点検とお手入れ」16~18ページ参照)

アフターサービスについて

サービスのお申し込み

- まず19ページ「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店かもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけのときは次のことをお知らせください。
 - 1.ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印等)
 - 2.品名…ガスビルトインコンロ
 - 3.品番…110-P510型/110-P511型
(下のようなラベルが機器の本体内部右側面に貼り付けてあります。)

(P) 110-P510

大阪ガス株式会社

(N) 110-P511

大阪ガス株式会社

- 4.現象…できるだけ詳しく
- 5.訪問ご希望日

転居される場合

- ガスの種類には都市ガス種類とLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い上げの販売店かもよりの大阪ガスにご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
- *ただし、ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。



補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、お客様の要望により、有料修理いたします。
- 補修用性能部品<性能を維持するための必要な部品>の最低保有期間は、製造打切後6年です。但し最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

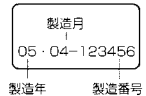
保証について

- このガスビルトインコンロには保証書がついています。
- 保証書に記載のように入力されたガスビルトインコンロの故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間内でも修理費をいただくことがありますのでこの取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 本製品は一般家庭用です。使用頻度の高い業務用で長時間使用の場合は、保証期間内でも有料修理になります。



製造年月について

製造年月は本体内部右側面貼付けの銘板でお確かめください。



別売部品のご紹介

次のような別売部品を用意しています。
お買い上げの販売店かもよりの大阪ガスでお求めください。

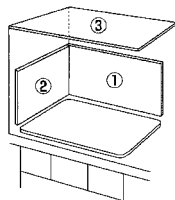
■防熱板

機器と可燃物との隔離距離が十分にとれない場合にご使用ください。

- 大阪ガス指定の防熱板以外は絶対に使わないでください。
- 防熱板は3種類（下記表参照）用意しております。

別売防熱板の種類			
品名	コード番号	高さ(mm)	幅(mm)
①防熱板A	07-77375-00	340	600
②防熱板B	07-77376-00	340	500
③防熱板	4015-0100-0207	550	900

防熱板の取り付けは別売品の防熱板取付説明書に記載されています。取付説明書に従って正しく取り付けてください。



■フィルター

設置した機器の下に隙間がある場合にご使用ください。

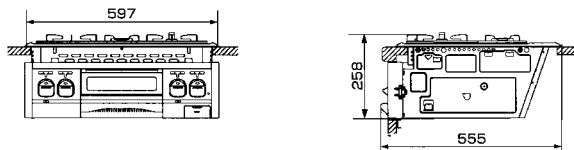
品名	高さ(mm)	幅(mm)
FLPD-50W	50	600

仕 様

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

品番	110-P510		110-P511		
形式名	E3・1-3 (PD-32EF-5L)		E3・1-3 (PD-32EF-5R)		
種 類	ガスグリル付こんろ				
点火方式	連続放電点火方式				
外形寸法（機器最大）	高さ258×幅597×奥行555mm				
質量（本体）	14.5kg				
ガス接続	Rc1/2（メネジ）15A鉄管または金属可とう管				
安全装置	立消え安全装置・消し忘れタイマー・焦げつき消火機能 調理油過熱防止装置（天ぷら油過熱防止機能）・グリル排気口過炎装置				
使用ガス	ガ ス 消 費 量 kW				
ガスグループ	チャオバーナー	標準バーナー	小バーナー	グリル	全点火時
都市ガス用13A	4.20	2.95	1.30	2.16	10.0
LPガス用	4.20	2.45	1.30	2.10	9.85

外形寸法図（単位:mm）



大阪ガスへのお問い合わせ先

〈お客さまセンター〉

- 大阪リビング営業部 〒550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 電話 0120-0-94817
- 南部リビング営業部 〒590-0973 堺市住吉橋町2-2-19 電話 0120-3-94817
- 北東部リビング営業部 〒569-8569 高槻市藤の里町39-6 電話 0120-5-94817
- 兵庫リビング営業部 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目8-2 電話 0120-7-94817
- 京滋リビング営業部 〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町93 電話 0120-8-94817

※ お電話のおかけ間違いのないようお願いします。

※ 所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）もよりの大阪ガスにご連絡ください。

必ずお守りください。安全上のご注意

ガスこんろは正しい設置で、楽しい調理を

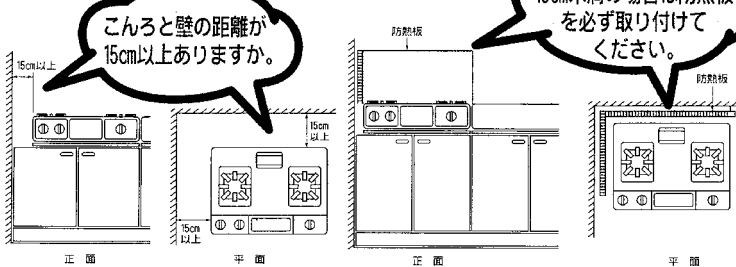


取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。

警告 こんろを正しく設置されないと火災の恐れがあります。こんろを設置される前に、次の事項をご確認ください。

こんろを設置するまわりの壁は耐火構造（例えばコンクリート造りのもの）になっていますが、モルタル、タイルやステンレスが貼られていても、裏側の下地が木材の場合本部が次第に炭化し最後に発火することがあります。（低温発火といわれております。）
 （テーブルこんろの場合）

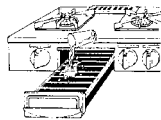
耐火構造以外の壁の場合は、次のことを必ず守ってください。



防熱板が必要な場合には、取扱説明書に従って設置してください。なお、ご不明な点は、お買い上げの販売店または「所在地リスト」に記載してある最寄りの事業所にご相談ください。

警告 使用中、電話、来客対応等でその場を離れる時は必ず消火してください。火災の恐れがあります。

●油は過熱しすぎますと油自体が発火します。天ぷら（揚げ物）に適した油の温度は約180℃です。こんろに点火し、そのまま放置すると短時間で燃え上がります。（セイフル、あざルックには調理油の過熱を防止する安全装置が付いていますので、天ぷらには安全装置の付いているバーナーをご使用ください。）



●グリル使用時には取扱説明書に従って必ずグリル皿に水を入れてください。魚やたまった脂が燃えて排気口から立炎するおそれがあります。（消し忘れ防止タイマー、グリル過熱防止装置等の付いた機器もあります。）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを右のように説明しています。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性、また火災・やけどの可能性が想定される内容を示しています。

●保証書は必ずお受け取りください。購入時に必要事項が記入されていることをご確認の上、大切に保存してください。

乾電池は必ずセットしてください

●電池ケースに表示してある⊕⊖を必ず合わせてください

乾電池をセットしないと器具が作動しません

○●●●●●お使いになるまえに●●●●●●

おねがい

お使いになるまえにご不明な点がありましたら、「所在地リスト」をご覧いただき、最寄りの事業所までご連絡ください。

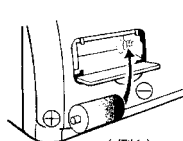


詳しくは取扱説明書をご覧くださいね！

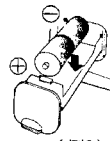
機器を梱包から出して、設置する際に必ず以下のことを確認してください。

乾電池のセット

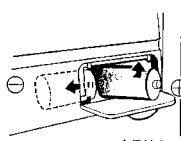
⊕⊖の向きをよく確かめてお取り付けください



(例1)



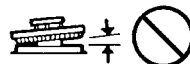
(例2)



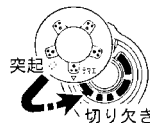
(例3)

バーナキャップのセット

突起を切り欠きにはめ、浮き・傾きのないように



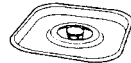
（注）突起・切り欠きのないタイプもあります。



突起
切り欠き

しる受け皿のセット

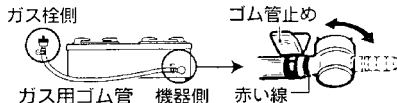
穴の大きい方を強火力バーナ、小さい方を標準バーナ側にセットする（前後左右間違えないように）



（注）左右共通のタイプもあります。

ガス用ゴム管の接続（テーブルこんろの場合）

ガス用ゴム管が折れ曲がっていませんか



ゴム管口の赤い線までゴム管を差し込み、ゴム管止めて止める